

スポーツ・文化

目指す姿（10年後）

- 地域の多彩なスポーツ資源に対する県民の認知が高まり、それらを活用した地域づくりの取組が県内各地で盛んになることで、新たなにぎわいの創出や地域経済の活性化などの成果が現れ始めています。
- 多くの県民が野球やサッカーといった身近なスポーツに限らず、都市と自然の近接性という本県の強みを生かし、マリンスポーツやウィンタースポーツ、アーバンスポーツ、eスポーツといった多様なスポーツを楽しんでいます。
- スポーツを「する」だけでなく、県内のトップチームやアスリートの活躍を「みる」ことや、スポーツボランティアなどのスポーツ活動を「ささえる」輪が広がることで、県民同士の一体感が高まり、広島が新たな「スポーツ王国」として広く認知され、地域への愛着や誇りが醸成されつつあります。
- パラスポーツについて県民の認知が高まり、障害の有無や、年齢、性別を問わず、誰もが参画し、楽しむことで、スポーツが多様性を認め合うきっかけとなっています。
- 多様な文化芸術について、県民の様々なニーズに応じた、「鑑賞する」「自ら体験する」ことができる機会が充実し、多くの県民が参画しています。
- 広島を代表する文化芸術として、神楽や交響楽団などが県内外から高く評価されることで、文化芸術に対する県民の関心が高まり、親しむ人が増え、地域への愛着や誇りが醸成されつつあります。
- 地域の歴史文化に触れることができる機会が充実し、また、こうした歴史文化の情報が一元的に集約され、容易にアクセスできるなど、地域の歴史文化を知ることができる環境が整い、県民の理解が進んでいます。

ビジョン指標	当初値	現状値	目標値 (R7)	目標値 (R12)
スポーツを楽しめることを誇りに 思う県民の割合	52.4% (全国1位) (R1)	61.9% (R7)	58.7%	65%
週に1日以上スポーツ実施率	県:41.8% (国:53.6%) (R1)	50.3% (R7)	53.4%	65%
過去1年間に文化芸術活動(鑑 賞・体験等)に参加した県民の割 合	鑑賞活動: 48.3% 体験活動: 19.5% (R2)	鑑賞活動: 53.9% 体験活動: 36.9% (R7)	鑑賞活動: 65% 体験活動: 35%	鑑賞活動: 80% 体験活動: 50%

主な取組	
● スポーツを活用した地域活性化 ➤ 「わがまち🍀スポーツ」に取り組む市町の支援 [R2～] ● 誰もがスポーツに親しむ環境の充実 ➤ 広島横断型スポーツ応援プロジェクト 「Team WISH」の運用開始 [R4.3] ➤ パラスポーツを通じた共生社会の実現 「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ 広島」の開催 [R5～] ● スポーツ競技力の向上 ➤ 「ひろしまスポーツアカデミー」 第1～3期生(中学生)の育成プログラムの実施 [R6.4～R7.3] 第4期生の選考会の実施 [R6.11～12]	● 文化芸術に親しむ環境の充実 ➤ 県立美術館における「古代エジプト展」等の幅広い層が楽しめる展覧会の開催 ➤ アフターサミットやインバウンド等の契機を生かした「広島神楽」や「縮景園」の魅力発信 ➤ けんみん文化祭及び県美展の開催 ➤ 広島県公立文化施設ネットワークの運営 ➤ グアナファト州知事訪問団の歓迎レセプションでの神楽上演 [R7.5] ➤ 歴史民俗資料館、歴史博物館及び頼山陽史跡資料館における企画展等の開催

① スポーツを活用した地域活性化

【5年間(R3～R7)の取組の方向】

- 本県が有する多彩なスポーツ資源を活用し、県内各地における多様な活性化の姿を生み出せるよう、広島版スポーツコミッションである「スポーツアクティベーションひろしま(SAH)」が中心となって、スポーツを活用した地域活性化に向けた戦略立案や事業実施、効果検証など、市町等における取組を支援します。
- 「スポーツアクティベーションひろしま(SAH)」において、県内におけるスポーツを活用した地域活性化に向け、知見やノウハウ、人脈を蓄積・提供するとともに、各種スポーツ団体やスポーツ関係者同士のネットワークを構築し、連携を促すことで、新たな取組が生まれやすい環境を創出します。

KPI		R3	R4	R5	R6	R7
「わがまち [◆] スポーツ」※ により目指すべき姿に向け 取組を実施している市 町数	目標	6 市町	8 市町	10 市町	12 市町	14 市町
	実績	6 市町	8 市町	11 市町	12 市町	13 市町
	達成状況	達成	達成	達成	達成	未達成

※スポーツの力を活用し、目指す姿の実現に向けた地域活性化の取組

【評価と課題】

- これまで「わがまち[◆]スポーツ」による取組を実施してきた市町は、スポーツを活用した地域活性化に向けた事業化へのニーズが比較的高かった。一方で、未実施市町については、地域が抱える課題や目標につながる事業の検討が十分できておらず、事業化には至らなかったことから、「わがまち[◆]スポーツ」により目指すべき姿に向け取組を実施している市町数については、目標の達成には至らなかった。
- また、取組実施市町数は毎年増加しているにもかかわらず、県民が「スポーツによって住んでいる地域が盛り上がっていると感じる割合」は 32.7%にとどまるため、今後は、県民が「スポーツによる地域活性化」の効果をより実感できるよう、市町と連携し、事業内容の改善や認知度向上に取り組む必要がある。

【主な事業】・ スポーツを活用した地域活性化推進事業……………443 ページ

【令和8年度の取組】

- 「わがまち[◆]スポーツ」の取組を未実施の市町に対しては、これまで実施してきた市町の取組の好事例を提供するとともに、これまでのノウハウの提供や学識者等との連携により、効果的な事業の構築を支援することで、事業化への後押しをする。
- 一方で、実施済みの市町の取組については、市町の求めに応じて課題解決に向けた伴走支援に取り組むとともに、PR活動等の支援を行う。

② 誰もがスポーツに親しむ環境の充実

【5年間(R3～R7)の取組の方向】

- 県内スポーツの各種活動やスポーツ施設の予約、利用等に関する情報の一元化とウェブやSNSによる戦略的な情報発信に取り組みます。
- 県内トップチームの選手派遣などによる、学校や地域でのスポーツ教室やスポーツ体験会を実施します。
- スポーツ解説者、OB・OG・現役選手などの配置による試合実況やルールや技術・戦略の解説、トップス広島をはじめとする県内トップスポーツの観戦への誘客、満足度の向上など、県民が応援を楽しむための環境を充実させます。
- 国際規模・全国規模のパラスポーツ大会を誘致するとともに、指導者の育成や体験会の開催を通じて、パラスポーツの普及を促進します。
- ウェアラブル端末などを活用したトレーニング方法やリモート応援システムなどを活用した観戦など、スポーツとの新しい関わり方の環境整備を支援します。

KPI		R3	R4	R5	R6	R7
スポーツを直接観戦した県民の割合	目標	44%	45%	46%	47%	50%
	実績	23.1%	28.4%	35.6%	38.4%	38.8%
	達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
スポーツボランティアに参加した県民の割合	目標	12%	14%	16%	18%	20%
	実績	7.8%	5.8%	7.1%	8.1%	8.4%
	達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成

【評価と課題】

- スポーツを直接観戦した県民の割合については、動画配信サービス等による観戦の多様化等により、目標の達成には至らなかった。そのため、県民の直接観戦への行動変容を促す取組を図る必要がある。
- パラスポーツの体験イベント「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島」について、廿日市市をメイン会場として開催し、5市町において計 12 競技の体験会を実施した結果、ボランティアや観客を含め、参加者が 4,000 名を超えた。一方で、体験会や競技大会等へのボランティアの協力依頼や周知が十分ではなかったことにより、スポーツボランティアに参加した県民の割合については、目標の達成には至らなかった。
- 世代に応じた運動習慣化につなげる取組として、令和6年度から教育委員会等と連携し、幼児期の運動遊びの充実を図るため、保育士や幼稚園教諭等への研修を実施しており、令和7年度には、300 名を超える参加があった。今後も着実に取組を進め、園所での定着を図っていく必要がある。また、働く世代・子育て世代の運動習慣化に関して、効果的な取組について検討する必要がある。

【主な事業】・ スポーツに親しむ環境創出事業……………340 ページ
 ・ スポーツを活用した地域活性化推進事業……………443 ページ

【令和8年度の取組】

- トップスポーツチームの認知拡大に向け、地域のスポーツ資源である「Team WISH」に参画する県内 24 のトップスポーツチームを最大限に活用し、チームが連携した合同応援企画等のイベントの開催や合同研修会の実施、SNS等による情報発信などを通じた、県民の関心を高めるプロジェクトを展開する。
- 令和8年度の「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島」については、広島市を中心に開催する予定であり、今年度で県内を一巡することから、今後はより一層全県に浸透させるよう、多様な主体と連携し取組を進める。
- 運動遊びを通じて「5つの力」を育む教育・保育を実践する保育園等を増やすため、子どもの運動遊びに係る研修会については、より各園・所の実態に応じた実践のイメージを持つことができる研修内容にブラッシュアップするとともに、受講者が研修内容を継続的に実践できるよう、オンライン及び訪問型のフォローアップを強化する。
- また、スポーツ実施率が低迷している働く世代・子育て世代については、それぞれのニーズや環境に応じ、手軽に運動・スポーツを楽しむことができる習慣化のきっかけづくりとなる、効果的な取組の検討を進める。

③ スポーツ競技力の向上

【5年間(R3～R7)の取組の方向】

- 体験型スポーツプログラム等を通じた裾野の拡大を図りつつ、優れた運動能力を持つジュニア選手の早期発掘に取り組むとともに、指導力の高い優秀な指導者の養成・確保を行うなど、ジュニア選手の育成強化に取り組めます。
- スポーツ医科学的なサポートやトップアスリートの指導に加え、オンラインコーチングアプリやモーションキャプチャーなど、デジタル技術の活用による育成を図ります。
- 強化を通じて得られたデータをエビデンスとして活用し、個人に応じたトレーニング方法の導入を推進します。

KPI		R3	R4	R5	R6	R7
国民スポーツ大会総合成績(天皇杯) ※令和6年度から名称変更	目標	14 位	12 位	11 位	10 位	8位
	実績	一※	26 位	23 位	19 位	18 位
	達成状況		未達成	未達成	未達成	未達成
国民スポーツ大会成績(少年の部) ※令和6年度から名称変更	目標	23 位	20 位	17 位	15 位	14 位
	実績	一※	46 位	24 位	16 位	29 位
	達成状況		未達成	未達成	未達成	未達成

※新型コロナの感染拡大を受けて大会中止

【評価と課題】

- 国民スポーツ大会成績については、指導者も含めた競技環境の整備を進めてきたものの、総合成績は 18 位(成年の部 12 位、少年の部 29 位)となり、目標の達成には至らなかった。更なる競技力強化に向けて、競技環境の整備をはじめ、引き続き、小学校段階での競技体験機会等の充実、中学校段階での選手の発掘・育成、高等学校段階での競技力強化まで、一貫した取組が必要である。
- ジュニアアスリートの発掘・育成については、中学生を対象とした「ひろしまスポーツアカデミー」(ホッケー、カヌー、ローイング、ボウリング、レスリング)において、令和7年度にフェンシング競技を新たに追加し、競技に特化した育成強化に取り組んだ。「ひろしまスポーツアカデミー」では、全国大会等で入賞する等成果を上げており、今後は高校段階での競技力向上拠点校との相互連携を図っていく必要がある。
- スポーツは好きだが、好きな競技に出会えていない子供たちや、スポーツをする機会がない子供たちに、引き続き、一人一人の資質や志向に応じた機会を提供する必要がある。

【主な事業】・ みらいアスリートチャレンジ応援事業……………450 ページ

【令和8年度の取組】

- 国民スポーツ大会における男女総合成績での入賞に向けた、選手の育成・強化のため、競技団体等と連携し、強化合宿等の実施や指導者養成、選手に対する医・科学サポート等を支援する。
- 将来、国際舞台等で活躍できるアスリートの育成を目指し、中学生を対象にした「ひろしまスポーツアカデミー」での育成に取り組むとともに、選手の継続的な育成を促進するため、競技力向上の拠点となる高等学校を指定し、優秀な選手が活躍できる場の確保に取り組む。

- 子供たち一人一人の資質や志向に応じた挑戦を後押しするため、個々の能力に応じた運動機会を提供するとともに、挑戦したい競技や好きなスポーツに出会う機会の提供に取り組む。

④ 文化芸術に親しむ環境の充実

【5年間(R3～R7)の取組の方向】

- 県立美術館において、幅広い層が楽しめる展覧会などを開催するとともに、縮景園においては、隣接の美術館との一体的運営の下、その魅力を更に引き出すイベント等を実施します。
- けんみん文化祭・県美展の内容の充実等を図るとともに、県内の文化施設の有効活用を進めるなど、県民が文化芸術活動に参加しやすくなる環境づくりを進めます。
- 文化団体等がその活動について相談でき、また、共通の課題解決に向けた関係団体での連携を推進できるプラットフォームを整備し、文化団体による活動の活性化を図ります。
- 広島神楽や広島交響楽団など広島の誇るべき文化資源が県民に対してより一層浸透するよう、それらの魅力を身近に感じられる公演機会の提供や、デジタル技術を活用した国内外に向けた情報発信などを支援します。
- 江戸時代以降の広島の歴史文化について、ゆかりの深い県立美術館等で分かりやすく発信していきます。また、県立歴史博物館等においても、幅広い地域の歴史に触れていただく企画展や出前授業等を充実します。

KPI		R3	R4	R5	R6	R7
文化芸術について関心がある県民の割合	目標	78.6%	80.2%	81.8%	83.4%	85.0%
	実績	72.3%	71.6%	68.8%	85.0%	75.1%
	達成状況	未達成	未達成	未達成	達成	未達成
地域の歴史について知っていると回答した県民の割合	目標	16.7%	20.1%	23.5%	26.9%	30.0%
	実績	12.0%	12.2%	10.4%	20.8%	22.4%
	達成状況	未達成	未達成	未達成	未達成	未達成

【評価と課題】

- 県立美術館における「古代エジプト展」など多様な世代が楽しめる展覧会の開催や、けんみん文化祭・県美展の実施を通じて、県民が文化芸術に親しむ機会の充実を図った。また、「広島神楽」や「縮景園」などの魅力を盛り込んだ動画コンテンツをSNSで発信するなど、文化芸術の魅力を効果的な発信に取り組んだが、文化芸術について関心がある県民の割合を年代別に見ると、40代以上の年齢層に比べ、20～30代の若い世代の関心が低い傾向にあり、文化芸術に関心がある県民の割合は、目標の達成には至っていない。
- さらに、地域の歴史に触れることができるイベント情報等を発信したほか、県立歴史博物館等において、デジタルコンテンツの充実や地域密着型の展示などを実施してきたが、県民の歴史・文化芸術に対する興味やニーズが多様化していることから、地域の歴史について知っている県民の割合は、目標の達成には至っていない。より一層、県民が地域の歴史に親しむことができる取組の検討も必要である。
- 県民の価値観やライフスタイルが多様化する中で、生活に安らぎや幸せなどの豊かさをもたらす文化芸術の本質的な価値や直接体験の意義が再認識されているため、今後は、県民が文化芸術により安らぎや幸せなどの豊かさを実感し、その魅力を感じられるよう取り組む必要がある。

【主な事業】・ 地域文化拠点強化事業……………332 ページ

【令和8年度の取組】

- 文化芸術を身近に親しめる機会を充実させるため、県立美術館・縮景園における、シーズンごとの特別展と連動した体験型イベントや、市町・公立文化ホール・広島交響楽団と連携した0歳児から親子で気軽に参加できるファミリーコンサートを開催する。
- 県民が文化芸術活動に参加しやすい環境を整備するため、引き続き、けんみん文化祭・県美展を開催するとともに、市町・関係団体等との連携による公演機会の確保を通じて、県民の文化芸術活動の発表や鑑賞機会の充実に取り組む。
- 広島神楽や広島交響楽団など広島の誇るべき文化資源について、魅力を身近に感じられる公演機会の提供や、国内外に向けた情報発信等を支援し、その魅力の発信や普及を図る。
- 県内の歴史文化に親しむ機会の充実を図るため、歴史民俗資料館及び歴史博物館において、これまでにない体験型イベントを実施する。（歴史民俗資料館「古代キャンプ」、歴史博物館「ナイトミュージアム」）